

題名:「フェーン現象発生中！水管理で稲体の保護を！」

内容:

●現在、台風の影響によるフェーン現象(高温、強風、低湿度)と考えられる東風(ダシ風)が吹いています。給水ができる圃場では一時的な湛水、もしくは飽水管理(作溝に水がある状態)で稲体を保護しましょう。

●特に、中生品種では出穂時期を迎え始めており、稲が水を欲する重要な時期となっています。出穂から穂揃い期(7日間程度)までは湛水管理(花水)を実施しましょう。特に出穂直後にフェーン現象に遭遇すると、白穂や枝梗枯れが発生しやすくなります。湛水管理で稲体の保護をしましょう。

※花水、フェーン現象対策時に、用水の量が不十分である場合は、飽水管理(作溝に水を溜めておくこと)を実施し、土中に水分がある状態にしましょう。

※水管理においては地域全体に水を行き渡らせることを最優先に考え、限られた水資源を大事にし、みんなが有効活用できるよう努めましょう。土地改良区の水利使用規則、ならびに地区の配水(番水)計画などのルールは必ず守りましょう。